

<別紙> 情報提供様式

① 事例名	
学校の教育環境整備	
② 学校名	
大津市立真野中学校	連絡先 077-573-6984
③取組分野(複数選択可)	
☒ 環境整備（民間施設の活用、職員室のレイアウト変更、留守番電話、備品管理等）に関する取組	
③ 直面していた課題(取組前の様子)	
整理が進まず、片付かない ・多様な物がたくさんある ・異動のサイクルが早い ・多数が使う ・とにかく狭い ・とにかく忙しすぎる	
④ 在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
(無駄な)探す時間をなくす→働き方改革を進める。 探しものをする時間が1日1分でも1分×20日=20分 20分×12ヶ月=4時間（1日10分なら40時間） 職場全体では、4時間×職場の人数=○時間←損失の時間 27人の場合、108時間の損失 <u>取組のポイント</u> ★片付けの仕組みをつくる。 ・使う物だけを、使うところに、使いやすくしまう。 ・どこに、なにが、どれだけあるかわかるようにする。	 
⑦取組の成果	
・物をカテゴリーに分けて、場所を決めてしまうことにより、どこに、なにがあるかが一目でわかり、探す時間の短縮につながる。 ・一目でどれだけあるかがわかるので、二重買い、三重買いの防止になり、予算の有効活用につながる。また、予算で購入した物を教育活動で有効活用できる。 <u>成果のポイント</u> ・(無駄な)探す時間の減少→働き方改革。 ・予算の有効活用、購入した物の教育活動での有効活用。	